

## 不審電話に関する事例

### 事案①

6月16日（月）午前9時頃、小林市在住の後期高齢者医療被保険者（75歳女性）宅にほけん課の職員を名乗る男から連絡があった。

37,250円の医療費の還付金の期限が切れていて、すぐ支払わないといけないので取引銀行はどこかと聞かれた。宮崎太陽銀行と答えると宮崎太陽銀行から電話が来るからと電話を切られた。

しばらくすると、宮崎太陽銀行の職員サイトウと名乗る男から電話があり、コープ小林市支店にある宮崎銀行ATMの駐車場に行ってくださいと言われ、携帯番号を相手に教えた。

伝えられた場所に着くと携帯に電話（非通知）があり、今日は月曜日で手が離せないからATMに行って6桁の暗証番号を入れてほしいと言われたが、6桁を紙に書くので教えてほしいと伝えたところ教えてもらえなかったため、不審に思い電話を切った。

同日午前10時頃、被保険者本人がほけん課窓口を確認に来られて、不審電話であることが判明した（市役所ほけん課

に着くまでの間、非通知電話が何度か来たが出なかった。)

## 事案②

6月16日(月)午前9時頃、高鍋町在住の後期高齢者医療被保険者(80歳男性)宅に役場職員を名乗るムラカミという男性から「医療費の払戻金37,500円がある。昨年11月に青色の封筒で案内したが手続きが済んでいない。」と電話があり、覚えがないと回答したところ、「あとで金融機関より手続きの電話がある。」と言われた。

30分後にイケダと名乗る男性から電話があったが、怪しいと思い途中で電話を切った。役場に問い合わせたところ医療費の払戻しの事実はなかった。

**不審な電話等があった場合、広域連合、市町村後期高齢者医療担当または最寄りの警察へ御相談ください。**

**問い合わせ先：宮崎県後期高齢者医療広域連合**

**0985-62-0921 (業務課)**